

代表質問

地方創生の主役は、担い手である人。人口維持は、将来的に活力を維持するための重要課題



公明党議員団
今村 智津子 議員

大牟田市まち・ひと・しごと
創生総合戦略策定

問 今後は総合戦略の実効性が問われるが、自治体間の競争が本格化する中で市長の決意を聞きたい。

答 子どもを産み育てたいと思えるような環境づくりと未来を担う人材の育成、産業の多様化と雇用の場の確保に重点的に取り組んでいきたい。

大牟田再生に向けた大きな転換点として、人口減少の抑制やまちの賑わい創出へとつなげていきたい。

問 観光事業推進協議会運営支援事業について、今後どのように進めるのか聞きたい。

答 行政や観光協会、物産、飲食、宿泊、交通機関、旅行業などと連携し、官民一体となり進めていく。

専門的なアドバイザーの支援を受けながら、観光資源や飲食、物販などを組み合わせた魅力的な市内ツアーなどの造成を図っていきたい。

健康いきいきマイレージ事業

問 注目される取り組みであ

り、市民に理解してもらうことが大切。事業の内容を聞きたい。

答 健康づくりマイレージ制度と介護予防ボランティア制度を合わせ持った事業を実施したい。

ポイントの対象事業は検討中。ポイントの還元は、商業団体や健康づくり関係団体、介護予防関係団体などと実行委員会を組織して取り組む。

市民周知を行い、10月から事業の実施、28年度中にはポイント還元などを実施したい。

大牟田市から胃がんを撲滅・
胃がんリスク検診の実施

問 医学的根拠について専門家による検診がされているが、佐賀県では、4月から中学3年生全員にピロリ菌検査が実施される。福岡県でも取り組みが進むよう、まずは大牟田から一番に発信してはどうか。

答 国の検討会の結果で有用であるならば、一生懸命頑張っていきたい。

寒波対策のマニュアル策定

問 行政がやるべきこと、市民が取り組むべきことについて、今後のマニュアルにどう反映するのか。

答 寒波による全市内の断水は、これまで想定していない状況であり見直しを行う。

まず、断水の可能性についてお知らせを行い、その後、断水の時間決定をするなど、事前に準備できるような対応を盛り込む。

空き家等の漏水問題については、検針時にビラ配布など周知啓発を重点的に実施することなどを盛り込む。

市民には、給水管を保温チューブ等で覆うことや、夜間、少量の水を出すなどの防寒対策の実施をお願いしたい。

記憶に残る広報内容の検討やわかりやすい出前講座、施設見学など取り組みを充実させていきたい。

心を育む動物園と自然豊かな
延命公園との利便性向上

問 延命公園周辺全体をまとめる部署がない。

動物園をはじめ、延命公園周辺全体を活性化するため、全体計画を策定し推進する必要があるが考えを聞きたい。

答 人口減少を見据えた公共インフラの見直しなど、大牟田市公共施設維持管理計画も十分踏まえながら、担当部局間はもちろん、各施設利用者などの関係団体等とも連携を密に図りながら、利便性向上と活性化に努めていきたい。



延命公園